

連携だより

令和7年

9 月号

令和7年9月1日発行

独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
0823-22-3111(代)

紹介予約専用

TEL 0823-22-3816

FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

9月の花 コスモス

理念
思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 放射線治療再開します 1
- 放射線治療装置更新のお知らせ 2
- 7月特別講演会開催しました 3
- 「第6回 地域医療連携のつどい」を終えて 4・5
- 医療安全講習会のお知らせ 6
- 連携病院紹介 7
- 9月時間外 研修会／勉強会 8

放射線治療再開します

放射線治療再開のお知らせ

平素より呉医療センター放射線科の運用にご理解・ご協力頂きまして誠にありがとうございます。放射線治療休止期間中は地域の医療機関を含め各科先生方、スタッフの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。工事は順調に進んでおり、9/1(月)より新治療器「Radixact」による放射線治療を再開予定です。

患者さんの紹介につきましては、8/18(月)より根治照射、緩和照射すべての患者受け入れを再開しております。なお、地域医療連携室経由の他院からの紹介についても同日8/18(月)より再開としております。今後とも放射線科の運用に、ご理解・ご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。

放射線治療装置更新のお知らせ

呉医療センターではこのたび、放射線治療装置および治療計画用CT装置を一新しました。今回導入されたのは、アキュレイ社製の放射線治療装置「Radixact」および、キャノン社製の治療計画用CT「Aquilion Exceed LB」です。本稿では、それぞれの機器の特徴についてご紹介いたします。

1. 「Radixact」による高精度放射線治療

「Radixact」は、従来の「TomoHD」の後継機にあたる放射線治療装置であり、ヘリカル照射に加えて照射精度や治療速度が大幅に向上しています（Fig.1）。

特に注目すべき機能として、呼吸性移動に対応したリアルタイム追尾照射システム「Synchrony」が搭載されており、外部マーカーとX線画像を用いて患者の呼吸を監視し、体内腫瘍の位置をモデリングします。これにより、肺や肝臓など呼吸性移動の大きい腫瘍に対して、照射マージンを縮小して正常組織への線量を低減することが可能となります。

さらに、光学カメラによって体表面の動態を監視する「VitalHold」も搭載されており、治療中に患者が動いた際には自動で照射を停止する機能を有します。これにより、呼吸コントロールと組み合わせた高精度照射も実現でき、治療精度のさらなる向上が期待されます（Fig.2）。



Fig.1:Radixactの外観

2. Aquilion Exceed LBによる治療計画

治療計画用CTとして導入された「Aquilion Exceed LB」は、開口径90cm・高スループット撮影が可能な装置です（Fig.3）。

またディープラーニング技術により、低線量下でも高画質を維持することが可能になりました。



Fig.2:VitalHoldイメージ図
(アキュレイ株式会社様ご提供)

3. おわりに

今回の装置更新により、全身のがんに対して安全かつ精密な放射線治療の提供が可能となりました。ご不明な点がございましたら、放射線腫瘍科までお問い合わせ下さい。



Fig.3:Aquilion Exceed LBの外観

7月特別講演会開催しました

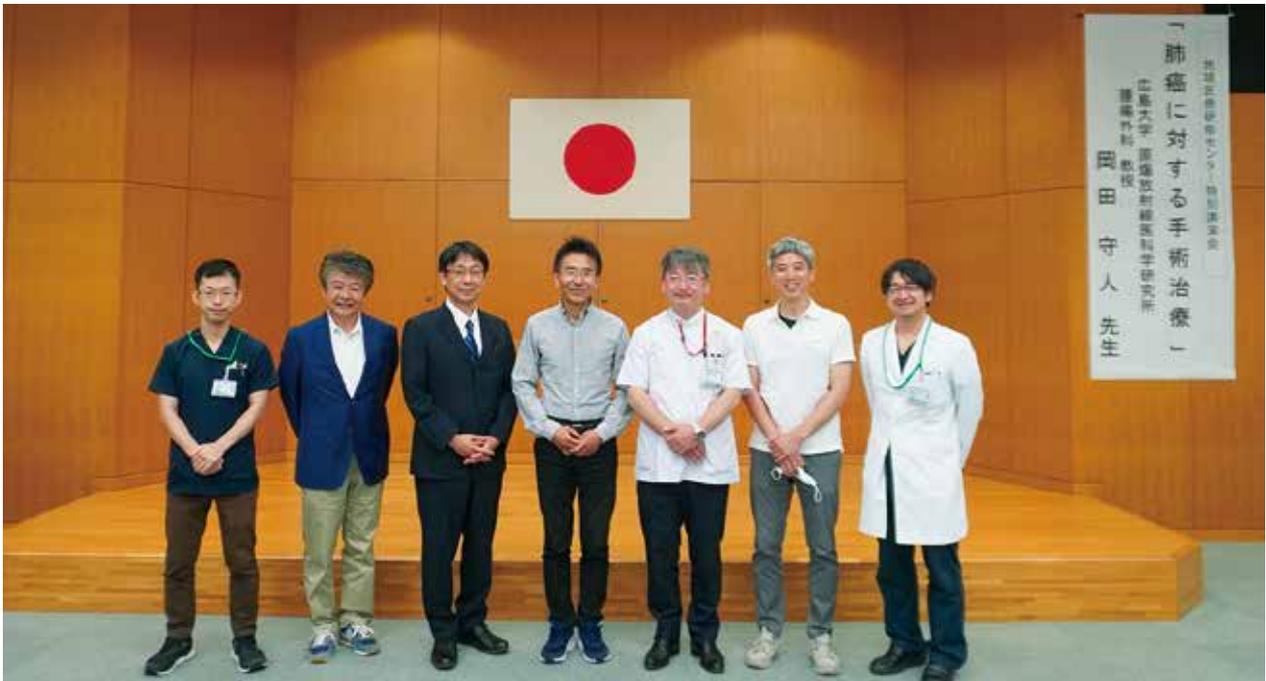


広島大学
原爆放射線
医科学研究所
腫瘍外科教授
岡田 守人先生

2025年7月9日（水） 特別講演会を開催しました。

広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科教授 岡田 守人先生に「肺癌に対する手術治療」と題されまして、生活レベル向上を目的とした呼吸機能温存手術について動画を用いて分かりやすくご講演いただきました。（以下抄録より）

肺がんは罹患率・死亡率がともに高く、依然として非常に治療が難しいがんです。従来、肺がん手術では腫瘍が小さくても、腫瘍が存在する肺葉全体を切除することが標準的でした。しかし、2 cm以下の小さな肺がんに対しては、肺活量の温存や術後の生活レベルの向上を目的として呼吸機能温存手術が行われるようになってきました。この縮小手術と胸腔鏡手術の組み合わせは、究極の体にやさしい肺がん手術といえるでしょう。2018年4月からはロボット支援手術「ダビンチ」を用いた肺がんの手術も保険適用となり、我々は「ハイブリッドVATS（胸腔鏡手術）」による区域切除をロボット手術にも積極的に取り入れています。



左から：呼吸器外科医師 上田 大介、臨床研究部 山下 芳典、呼吸器外科科長 三村 剛史、
広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科教授 岡田 守人先生、院長 繁田 正信、
呉共済病院医師 胸部外科部長 杉本 龍士郎先生、呼吸器外科医師 田崎 拓朗



演者
広島大学
原爆放射線医科学研究所
腫瘍外科教授 岡田 守人先生



座長
呼吸器外科科長
三村 剛史



会場風景

「第6回 地域医療連携のつどい」を終えて

地域医療連携部長 吉田成人

「第6回地域医療連携のつどい」を7月3日（木）にクレイトンバイホテルで開催し78医療機関から147名、院内から102名の計249名の方に参加頂き、顔の見える連携の場としてつどいの会を盛大に行うことが出来ました。これも一重に当院と連携して頂いている皆様方のご協力の賜物と感謝している次第です。

開催当日は繁田 正信院長の挨拶に続き、御多忙の中お越し頂いた呉市医師会会長 石井外科診療所 院長 石井 哲朗先生にご挨拶して頂きました。

また、本年度は乾杯の前に当院の3つの診療科の紹介をさせて頂きました。高木 慎太郎消化器内科科長、熊谷 正俊産科・婦人科科長、妹尾直呼吸器内科科長より各科の特徴や最新の医療について説明をさせて頂きました。その後、乾杯の発声を田代 裕尊副院長にいただき、和やかな雰囲気の中つどいの会が行われました。



開会の挨拶
院長 繁田 正信



診療科の紹介



来賓挨拶
呉市医師会会長 石井外科診療所院長
石井 哲朗先生



乾杯の挨拶
副院長 田代 裕尊

後半には地域医療連携室室長の久保田 益巨内
分泌・糖尿病内科科長と地域連携室副室長の西岡
初子看護師長より当院の連携状況についてのア
ンケート結果と今後の対策について報告しまし
た。予約制度に対するアンケートの満足度76%
(満足・やや満足)、地域医療連携室の対応の満
足度85%(満足・やや満足)と非常に高い評価
を頂きました。外来予約に関しては、地域連携枠
を設置したことで以前より予約取得が早くなっ
たという意見がある反面、昨年同様に予約の返
事が遅いという意見も頂きました。そこで対策
として、地域連携枠に限り地域の先生方がスマ
ホなどで直接診療予約を出来るシステムの導入
を現在検討しています。また、内視鏡予約に関
しては、受診回数の軽減目的で6月より上部消
化管内視鏡検査予約を(当面は月曜日と金曜
日のみ)開始し検査と結果説明が1回の来院
で出来るようにしました。アンケートの結果に
対しての改善はまだ不十分な点が多いですが、
頂戴したご意見を今後の地域医療連携に活
かしていきたいと思っております。



歓談・意見交換風景



閉会の挨拶
副院長 大庭 信二



歓談・意見交換風景

最後に、大庭 信二副院長より挨拶、一本締め
で盛況の中、閉会となりました。「地域医療連
携のつどい」を終えて、連携施設の皆様と直
接お会いしてお互いの気持ちを理解し貴重
な時間を過ごすことが出来ました。今後とも
繁田 正信院長をはじめ全職員が、連携施
設の皆様と心の通った医療連携を目指して
まいりますのでご指導とご鞭撻を宜しくお
願い致します。

令和7年度第1回 法定研修



医療安全講習会

日時：令和7年9月12日（金）18：00～19：00

会場：地域医療研修センター1・2

座長：呉医療センター 医療安全管理部長（副院長）大庭 信二

【講演1】

「3年が経過した当院の院内迅速対応システム
（Rapid Response System）の現状について」
—継続可能なシステムとして根付かせるために—

呉医療センター 救命救急センター部長
岩崎 泰昌 先生



【講演2】

「カニューレトラブルとその対応について」

市立三次中央病院 耳鼻咽喉科 医長
大林 敦人 先生



日常診療においてカニューレトラブルは比較的頻繁に観察されるが、カニューレの閉塞・脱落は状況によっては窒息を誘発し得る重大事象である。本講演では具体的事例をもとに、緊急時の対応に限らず、日々の観察ポイントや重大なトラブルを未然に防ぐための評価や対応策について解説する。

**専門医共通講習：医療安全（必修）1単位対象研修となります。
受講証明書が必要な方は受付時にお伝えください。**

■当日は、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い申し上げます。
ご記帳いただきましたご施設名、ご芳名は医薬品の適正使用情報および医学、薬学に関する
情報提供のために利用させていただくことがございます。何卒、ご理解とご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。



〒737-0023 呉市青山町3番1号
独立行政法人国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター
管理課：TEL (0823-22-3111)

連携病院紹介



医療法人エム・エム会
マッターホルンリハビリテーション病院



医療法人社団薫風会 横山病院



地方独立行政法人 広島県立病院機構 県立安芸津病院



医療法人 佐々木内科・呼吸器科クリニック



【紹介予約専用電話】のお知らせ

外来紹介予約に関するお問い合わせ

地域医療連携室直通

TEL : 0823-22-3816

FAX : 0823-32-3070

その他のお問い合わせ

病院代表電話

TEL : 0823-22-3111

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

救急外来
受付直通

TEL : 0823-23-1020

FAX : 0823-21-7474

9月の時間外 研修会／勉強会



【連絡先】

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係(教育企画部)
 広島県呉市青山町3番1号/TEL:0823-22-3111/ホームページ: <https://kure.hosp.go.jp/>



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	9月3日 (水) 18:00~	地域研修センター 1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
令和7年度第1回 法定研修 医療安全講習会 「3年が経過した当院の院内迅速対応システム (Rapid Response System)の現状について」 —継続可能なシステムとして根付かせるために— 「コミュニケーションとそれの対応について」	9月12日 (金) 18:00~19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター 救命救急センター 部長 岩崎 泰昌 市立三次中央病院 耳鼻咽喉科 医長 大林 敦人 先生	管理課	○	全職種
TCSA勉強会 「人工呼吸器装着中の栄養管理」 「高カロリー輸液について」	9月22日 (月) 18:00~19:30	地域研修センター 1・2	呉医療センター 主任栄養士 保手濱 由基 薬剤師 大田 美沙貴	栄養管理室	○	全職種
地域医療研修センター 特別講演会 「血液内科学の無限の魅力」	9月26日 (金) 18:30~19:30	地域研修センター 1・2	広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 戸辰 夫 先生	管理課	○	全職種

自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 地域医療連携室
 独立行政法人 国立病院機構
 呉医療センター・中国がんセンター
 吉田 成人 久保田益巨
 寺尾 秀二 西岡 初子
 折本 陽一 片山 千雪

(紹介予約専用電話)
 TEL: (0823) 22-3816 FAX: (0823) 32-3070